

平成20年4月砥部病院

高齢者こころのケアセンター相談室 ニュースレターNo. 24

## センター開設記念催しのお知らせ

砥部病院高齢者こころのケアセンターは、本年5月1日で3周年を迎えます。そこで、坂東流日本舞踊の方にセンター5階にて舞っていただくことになりました。以下のような予定です。お楽しみに

日時 平成20年5月1日(木)午後2時から3時

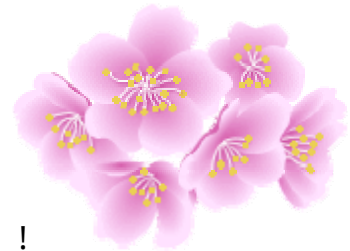
場所 高齢者こころのケアセンター5階

## 弦楽器演奏会のお知らせ(予定)

13名の演奏者による弦楽器アンサンブル・グループ「Harmony of the Strings」の演奏会です。乞うご期待!!

日時 平成20年5月18日(日)午前10時頃から

場所 高齢者こころのケアセンター5階



## パーソン・センタード・ケアの勉強会を院内でしました。

3月4日(火)中城有喜センター長講師で「パーソン・センタード・ケア」の勉強会をしました。「パーソン・センタード・ケア」とは、イギリスの心理学者トム・キッドウッドが提唱した認知症ケアの基本理念のひとつです。認知症を単に脳の器質的な障害とだけみる『**認知症**の人』という見方から、認知症という疾患により知的機能の低下に直面した人との関係性に注目して「その人らしさ」を尊重する『**認知症の人**』という見方を持って、接していくことで、私たちスタッフを受け入れていただくことが大切であることを学びました。このことは認知症の状態となっても、個人として尊重され、理解される「尊厳の保持」にもつながります。

また日頃のケアの具体例を通じて、よい状態、悪い状態の兆候の見方、その人らしさの維持、個人の価値を低める私たちの働きかけのポイントも学びました。これからも繰り返しこの考えを学び、意識していきたいと思えます。



## 「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」に行きました。

3月15日、16日の2日間、兵庫県明石市で行われました「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」にセンターから6人が参加しました。全国から1000人を超える参加者、150近い各施設からの実践報告がありました。認知症を持つ方のケアを日々どのように行ったらよいか、試行錯誤した内容と実践者とケアを受ける側の心の移り変わりが、ありのままに綴られた内容が今年も網羅されていました。院内での報告会の後、センター5階に資料を置く予定です。興味のある方はご覧ください。



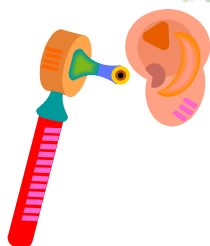
### 本のご紹介 会場で販売していたぬり絵の本をご紹介します。



#### 高齢者の脳が活性化するやさしい傾聴ぬり絵

傾聴を取り入れたぬり絵の手順をやさしく解説した入門書。ぬり絵活動に傾聴を取り入れることで、お年寄りと介護者の心が通う活動に発展していきます。犬・猫・花のぬり絵22種類と、ぬり絵ポストカード10枚つき。

早速各ユニットで取り入れているところがあります。



#### 聴こえ・補聴器相談

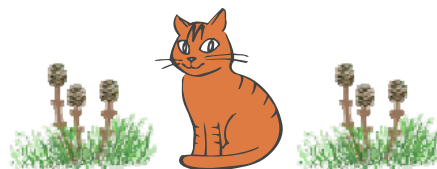
5月はゴールデンウィークのため5月12日(月)の予定です。

ご相談したい方は、事前にご連絡ください。

#### KUMAのつばやき

センター南に職員駐車場が造られ、景色が変化してい

るのが、屋上からよく見えます。駐車場内に新しい畑もできる予定です。



編集：砥部病院高齢者こころのケアセンター相談室（文責 武田）  
青木(512)・田中(513)・中川(514)・武田(516)  
何かお気づきの点がございましたら、ご相談ください。